

ジェーシードウコー 2013 年度決算

Out of Home Media

Algeria
Argentina
Australia
Austria
Azerbaijan
Belgium
Brazil
Bulgaria
Cameroon
Canada
Chile
China
Croatia
Czech Republic
Denmark
Estonia
Finland
France
Germany
Hungary
Iceland
India
Ireland
Israel
Italy
Japan
Kazakhstan
Korea
Latvia
Lithuania
Luxembourg
Malaysia
Norway
Oman
Poland
Portugal
Qatar
Russia
Saudi Arabia
Singapore
Slovakia
Slovenia
South Africa
Spain
Sweden
Switzerland
Thailand
The Netherlands
Turkey
Ukraine
United Arab Emirates
United Kingdom
United States
Uruguay
Uzbekistan

- 売上は 2.0%増加し、26 億 7620 万ユーロ、有機売上は 1.2%増加
- オペレーティングマージンは 3.6%増加し、6 億 2360 万ユーロ
- 減損繰入前の EBIT は 3 億 5160 万ユーロ、10.1%の上昇
- 減損繰入前のグループ純利益は 2 億 1980 万ユーロ、5.3%の上昇
- 1 億 7980 万ユーロのフリーキャッシュフロー
- 対前年 9%増、1 株当たり 0.48 ユーロの配当を提案
- 2014 年第 1 四半期の有機売上はわずかに増加の見込み

パリ、2014 年 3 月 11 日- 世界第 1 位の屋外広告会社であるジェーシードウコーは 2013 年の決算を発表しました。数値は監査を受け承認されています。

2013 年決算に関して経営会議議長・共同 CEO であるジャンフランソワ・ドゥコーは、次のように述べています。

「ジェーシードウコーは 2013 年、売上、オペレーティングマージンおよび減損前の EBIT において昨年に続き記録的な数字を達成しました。長期低迷後、ゆるやかな欧州経済改善という状況の中で、当社は再びそのビジネスモデルの強さを証明しました。その売上の 32%は新興国におけるものであり、7%は英国を含む 3 カ国で重点的に取り組んでいるプレミアムデジタルポートフォリオによるもので、英国ではデジタルは既に売上の 20%を占めています。

2013 年はサンパウロでの広告付き時計の設置が完了し、またユーメックス社の 85%を獲得することを発表し、ラテンアメリカにおける成長のための強力な基盤を手に入れました。当社は 50 周年を迎えるにあたり、有機的成長に引き続き注力し、価値ある買収案件に選択的に投資を続けます。当社の強い財務基盤により、5 月の株主総会では対前年比 9%増、0.48 ユーロの 1 株当たり配当を提案します。

2014 年第 1 四半期に関しては、多くの市場における不透明な見通しと継続する不安定さを踏まえ、現時点では有機的成長の微増を見込んでいます。

今後の展望としては、細分化されたメディア環境において、屋外広告は引き続きその強みと魅力を維持出来ると考えます。当社は広告市場で良いポジションにあり、市場平均を上回り、屋外広告市場でのリーダーとしてのポジションをより強めていくことが出来ると確信しています。当社の強固なバランスシートは、必要に応じて外部の成長機会を取り込むことが出来る、重要な競争優位性です。」



JCDecaux SA

United Kingdom: 991 Great West Road, Brentford - Middlesex TW8 9DN - Tel.: +44 (0) 208 326 7777

Head Office: 17, rue Soyer - 92200 Neuilly-sur-Seine - France - Tel.: +33 (0)1 30 79 79 79

www.jcdecaux.com

A public limited corporation with an Executive Board and Supervisory Board

Registered capital of 3,407,037.60 euros - # RCS: 307 570 747 Nanterre - FR 44307570747

売上

2014年1月27日に報告の通り、2013年の連結売上は2.0%増加し26億7620万ユーロとなりました。1.2%の有機成長率は主にストリートファニチャー部門によるもので、年後半の多くの欧州市場での基本的な改善を反映し、高い成長を示しています。交通部門の有機成長率は僅かにもものとなりました。これは前年のオリンピックの影響と、2012年末に幾つかの契約が終了したことによるものです。ビルボード部門は年間を通じて引き続き困難な年になりました。

オペレーティングマージン⁽¹⁾

2013年の当社グループのオペレーティングマージンは前年の6億202万ユーロから3.6%増加し6億2360万ユーロとなりました。連結売上に対するオペレーティングマージンは23.3%で、前年より30bps高いものとなりました。

	2013		2012		対前年比	
	(€m)	売上比	(€m)	売上比	変化率 (%)	変化量 (bp)
ストリートファニチャー	391.0	32.8%	374.9	32.0%	+4.3%	-80bps
交通	170.2	16.8%	170.6	16.8%	-0.2%	±0bps
ビルボード	62.4	13.3%	56.7	12.9%	+10.1%	+40bps
合計	623.6	23.3%	602.2	23.0%	+3.6%	+30bps

ストリートファニチャー: オペレーティングマージンは4.3%増加し3億9100万ユーロとなりました。売上比では80bps改善し32.8%。これは欧州市場が年後半においてわずかながら改善したことと、継続中の原価コントロールを反映しています。

交通: 2013年のオペレーティングマージンはほぼ変化無く1億7020万ユーロとなりました。売上比は16.8%で安定していますが、この理由の一部は通常の売上レベルに達していない新規契約の増加です。

ビルボード: 2013年のオペレーティングマージンは10.1%増加し6240万ユーロとなりました。売上比は2012年の12.9%と比較して40bps改善し13.3%となっています。これは主に2013年2月にラスアウトドア社を統合したことによるもので、一方、市当局がどれほど速く約5000の違法ビルボードを撤去するかにより、モスクワでの新規10年契約による費用の増加が2014年に影響を与えるであろう。

EBIT⁽²⁾

2013年の減損繰入前のEBITは2012年の3億1930万ユーロに比べ10.1%増加し、3億5160万ユーロとなりました。対連結売上比は2012年の12.2%から90bps増加し13.1%となりました。メンテナンス用スペアパーツの消費は変化が無く、買収に伴う無形固定資産の減損繰入および減価償却繰入を除く有形および無形資産の減価償却費は、2012年と比べ増加し380万ユーロとなりました。買収に伴う固定資産の減価償却費は減少し1710万ユーロ（2012年は2050万ユーロ）。引当金戻入は340万ユーロ増加しました。

欧州経済の軟化、欧州およびフランスで進行中のビルボード市場の細分化により、営業のれん、有形資産と固定資産に対する減損テストの結果として1億3200万ユーロの減損を計上しました。:

- 営業権の減損関連1億2680万ユーロ: 欧州（フランスと英国を除く）のビルボード7730万ユーロ、フランスのビルボード2950万ユーロ、欧州（フランスと英国を除く）の空港以外の交通2000万ユーロ
 - 有形および無形資産の減損関連520万ユーロ
- 減損後のEBITは2012年の2億7350万ユーロに比べ減少し2億1960万ユーロ。

営業外利益 / (損失) ⁽³⁾

2013年の営業外損失は2012年の2140万ユーロから拡大し2630万ユーロとなりました。これは2月に発行した5億ユーロの社債に関わる純利子支払費用およびラスアウトドア社統合の影響です。

持分法投資損益⁽⁴⁾

持分法投資損益は、主にスイスのAPG|SGAおよびフランスのMetrobusの影響により、昨年の1780万ユーロから減少し1340万ユーロとなりました。

連結純利益⁽⁶⁾

2013年の減損繰入前の連結純利益は2012年の2億880万ユーロから5.3%増加し、2億1980万ユーロとなりました。

減損繰入1億2930万ユーロの影響を考慮に入れると、連結純利益は2012年の1億6430万ユーロから減少し9050万ユーロ。2013年の減損繰入1億2930万ユーロは、のれん減損の1億2620万ユーロと、有形および無形資産減損の310万ユーロに対応したものです。

資本支出

純資本支出（資産、プラント、設備、無形固定資産の取得、資産処分）は当社の予想通り増加し2億2210万ユーロとなりました。これはサンパウロやアムステルダムなどでの主要な契約の獲得/更新によるストリートファニチャーの資本支出を反映したものです。

フリーキャッシュフロー⁽⁶⁾

2013年のフリーキャッシュフローは2012年の3億2270万ユーロに比べ減少し1億7980万ユーロとなりました。これは主に大きな資本支出と、2013年の費用の前払いや第4四半期の好調により生じた大きな売掛金等を含む経常外損益を原因とした、必要資本における好ましくない変更によるものである。

純負債⁽⁷⁾

当社グループは2013年12月31日時点で3200万ユーロの現金持高があり、これは前年より若干減少しています（2012年12月31日時点では3490万ユーロ）。

配当金

2014年5月14日に開催される次回の年次株主総会では、スーパーバイザリーボードは2013年度、1株当たり0.48ユーロの配当金の支払いを提言する予定です。これは前年に比べ9%の増加となります。

- (1) オペレーティングマージン＝売上－直接営業費（メンテナンス用スペアパーツを除く）、一般管理費
- (2) EBIT＝Earning Before Interest and Tax＝オペレーティングマージン－減価償却費、引当金、のれん減損、スペアパーツ、その他の営業収入・費用
数字は(i) 従業員福利に関するIAS19（改正後）の影響および(ii) 従業員福利の条項へのP&Lプレゼンテーション割引効果における変更（EBITから純財務利益/損失への再分類）の見積り額です。前回発表された2012年EBTへの影響は290万ユーロ
- (3) 純利益 / (損失)＝少数株主持分による影響を除く（2013年-250万ユーロ、2012年-1000万ユーロ）
2012年の数字は(i) 従業員福利に関するIAS19（改正後）の影響および(ii) 従業員福利の条項へのP&Lプレゼンテーション割引効果における変更（EBITから純利益/損失への再分類）の見積り額である。前回発表された2012年純利益への影響は-210万ユーロ
- (4) 持分法投資損益＝2012年の数字は従業員福利に関するIAS19（改正後）の影響の見積り額。前回発表された持分法投資損益は100万ユーロ
- (5) 純利益グループ割当額＝2012年の数字は従業員福利に関するIAS19（改正後）の影響の見積り額。前回発表された純利益グループ割当額は150万ユーロ
- (6) フリーキャッシュフロー＝営業活動による純現金収支－資本投資（固定資産、設備、機器及び無形固定資産）・処分
- (7) 純負債＝IAS39（負債およびデリバティブ）の非現金効果を含み、IAS32（少数株主利益を買う約束に関する負債）の非現金効果を含まない

次回情報開示

2014年第1四半期売上：2014年5月6日（市場終了後）
年次株主総会：2014年5月14日

当社グループの主な数字

- 2013年売上：26億7620万ユーロ
- ジェーシードゥコーはユーロネクストパリのユーロリストに入っており、ユーロネクスト100インデックスに含まれています
- ストリートファニチャーにおいて世界第1位（434,700の広告面）
- 交通広告において世界第1位：150以上の空港、280以上の地下鉄・バス・電車およびトラムと契約（358,100の広告面）
- ビルボードにおいて欧州第1位（199,600の広告面）
- アジア太平洋地域の屋外広告において第1位（205,000の広告面）
- セルフサービスレンタル自転車において世界第1位
- 55以上の国において1,002,800の広告面
- 人口1万人以上の3,700市にて事業展開
- 10,484人の従業員

将来の見通し

このニュースリリースには将来の見通しに関する記述が含まれる場合があります。それらは当社の将来の業績に関する保証ではありません。そうした記述はこのリリース発表時の合理的な予測と前提に基づくものであると当社は考えますが、記述で示されたあるいは意味されたものと実際の業績が異なるかもしれないというリスクと不確実性があります。

これらのリスクと不確実性にはフランスの Autorité des Marchés Financiers で登録されたアニュアルレポートに記載されたリスクファクターが含まれます。

当社の投資者および株主は Autorité des Marchés Financiers のウェブサイトまたは当社のウェブサイト www.jcdecaux.com からアニュアルレポートのコピーを入手できます。

当社は将来の見通しに関する記述を更新・変更する義務を負いません。

Contacts

Communications Department: Agathe Albertini
+33 (0) 1 30 79 34 99 – agathe.albertini@jcdecaux.fr

Investor Relations: Nicolas Buron
+33 (0) 1 30 79 79 93 – nicolas.buron@jcdecaux.fr

連絡先（日本）

エムシードゥコー株式会社 マーケティング部 担当：遠藤
t.endo@mcdecaux.co.jp